

JDnews

もっと知りたい！教育学部の情報マガジン

夢に向かっていっしょに学ぶキャンパスの仲間はもちろん、卒業後の先輩たちも様々な分野で大活躍しています。
そんな教育学部のことをもっと知りたいあなたのため。私たちの「今」をお届けするJDnews第9号です。

Vol.
09
2021 September

聖徳大学 教育学部 児童学科・教育学科
SEITOKU



教育学部サイトへはこちから！ブログで大学生活を紹介！



どんな時でも
スマイル宣言。



16名の個性が活きる
作品になりました。



毎回最後に振り返りをして
次に臨みます。

身体表現「アラジン」
コロナ禍でもやり遂げることが
できた卒業研究発表会

2

020年11月9日に安広・井上ゼミの卒業研究ダンス

「アラジン」。発表者は児童学科幼稚園教員・保育士養成コースと児童文化コース合わせて16名の4年生。3年生の10月から共同制作を始め、発表までの道のりは例年以上に困難でした。感染症の流行によって授業がオンラインによる自宅学習となり、大学内での活動も中止や制限が生じる中で、発表日が迫ってきていたのに全員揃っての活動が確保できないことに不安を抱えていました。しかし、与えられた時間の中で全員が精一杯協力し「アラジン」を完成させることができました。

発表会当日は、人数制限をし、出演者の家族、友人、教員という限られた中での発表となりましたが、生き生きとした表情で活気のある演技を披露できました。最後に発表会後の学生のコメントを紹介します。「コロナ禍で練習したくともなかなかできない状況で、とてもどかしい気持ちを抱えていました。しかし、こんな状況だからこそ、より良い作品を作りたいと思いました。中間発表である程度作品が仕上がりながらも満足せず、全員が更に高い意識を持って取り組めました。「アラジン」を作り上げる中で安広先生や井上先生をはじめ、沢山の方々に支えられました。その結果、満足のいく作品に仕上げられたと思います。関わってくださった全ての方々に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。」

一般企業



子ども写真城スタジオアリス(イーストつくば店) 勤務
児童文化コース 2021年卒業
(千葉県立松戸六実高等学校卒業)
川頭 莉佳さん



撮影した写真をセレクトしながら、お客様に合った商品を選んでいきます。



衣装選びは親子と会話を楽しむながら。

公立幼稚園



千代田区立番町幼稚園 幼稚園教諭
幼稚園教員・保育士養成コース
2021年卒業
(東京都立江戸川高等学校卒業)
佐伯 夢羽さん



大学で学んだことを思い出しながら、子どもたちと指遊びをします。



子どもたちの顔を見ながら、楽しくピアノを弾きます。



公立幼稚園、就職1年目の先生に聞いてみた!!

Q 幼稚園の先生として働いてみてどうですか?

A 幼稚園教員として働くことは、学生時代の気楽さとは違ってへとへとなることもあります。子どもに対してや仕事そのものへの気遣いなどもあり大変ですが、子どもたちが成長するのを見て自分も頑張らなくてはと思います。

Q 働くなかで、大学での学びがいきているなと感じることは何ですか?

A 大学では、子どもを肯定的に見るということを様々な授業で学んだと思いますが、それはとっても重要なことだとと思っています。子どもの気になるところは、教師の支援によって変わっていくのだと感じています。

Q これからの目標やビジョンを教えてください。

A 今は、幼稚園教員の仕事を覚えることで精一杯ですが、この仕事を続けていきたいと思っています。そして、新人研修を受けたことで、将来は研修の主催者側で新人教育をしていく仕事も素敵だと思いました。

大学元担任の先生からのコメント

佐伯さんは、入学時から礼儀正しく成績優秀な学生でした。自立心も高く、アルバイトと勉強を両立させ、常に物事を真剣に捉え、将来を見据え行動していましたと感じます。その結果、公立幼稚園で働く夢を実現できたのだと思います。

素敵な笑顔が撮れた時は最高です！

「私 が7歳の頃、スタジオアリスで撮ってもらった3人兄弟の写真は、今でも大切に飾っています。写真は撮った時のことと一緒に思い出させてくれる素晴らしいものだと思います。今度は、私が大切な写真を撮ってあげられるような人になりたいと思い就職しました」と語ってくれたのはサブマネージャー試験にも合格し、カメラを任されている川頭さん。「泣いている子どもを撮る時は本当に難しいです。人形を使ってあやしたり、手遊びをすることもあります。一瞬の笑顔を逃さずシャッターを切れた時はとても嬉しいです。子どもの発達の知識、人形劇やゼミなどで学習したこと全てが仕事の中で活かされていると実感しています」。

「サブマネージャー試験では、撮影以外に、ヘアメイク、着付け、接客、商品知識など総合的に評価されるので、覚えることが多かったですが時間を見つけて勉強しました」。

「まずはお客様に喜んでいただける写真を撮ることを第一に頑張りたい」と抱負を語っていただきました。幼保の免許・資格を取得し、社会人として活躍している姿はとても頼もしく映りました。

認定こども園



習志野市 幼保連携認定こども園 青葉幼稚園 保育士
保育士養成コース 2019年卒業
(和洋国府台女子高等学校卒業)
河野 彩香さん



一人ひとりの成長やその日の体調に合わせて、ミルクを作ります。



「自分も子どもも楽しく過ごせるように！」 を心掛けています。

社 会人3年目の河野さん。1年目の頃は子どもとの関わりかたに悩むこともあったそうです。でも、経験を積むなかで、子どもたちのイタズラも危険なことでない限りは、「こんなこともできるようになったんだね！」と成長として捉えることができるようになり、今では「子どもと一緒に楽しむ大切さ」を意識しながら毎日の保育にのぞんでいるそうです。保育は1人ではできず、周りの先生や保護者の方の理解や協力があって成り立っていることを実感している河野さん。「協働」の視点を忘れずに、一人ひとりの子どもの成長にこれからも担任として関わっていきたいと語ってくれました。前年度に担当した子どもたちが、「あやか先生に会いたい！」と新たなクラスで話していたり、廊下を通る度に「あやか先生～！」と駆け寄って来てくれたりすると、子どものなかで自分の存在がかけがえのないものとなっていることに喜びを感じ、「『保育士になる』という夢を叶えてよかった」と心から思うそうです。子どもと保護者に寄り添う素敵な保育士として、これからも活躍してくれることを期待しています。

公立小学校



川口市立飯仲小学校 小学校教諭
小学校教員養成コース 2021年卒業
(浦和実業学園高等学校卒業)
内村 莉里さん



笑顔を忘れずに、そして真剣に子どもたちと向き合います。



クラス全体を大切にしながら、個に適切に配慮することが求められます。

教 員1年目の内村さん。着任の際には、川口市の代表として挨拶を立派してくれて、校長先生から「期待の新人です」と太鼓判を押されました。4月、担任する子どもたちの前に立った時、「やっと会えた！」と、夢が叶ったことを実感した内村さん。授業の際には終始落ち着いて、笑顔での確に子どもたちに対応している姿が印象的でした。クラス全体でやるべきことをやったあと、個別対応が必要な児童のそばへ行き、目の高さを合わせ、横に並んで丁寧に対応。クラス全体を大切にしながら、個に適切に配慮することが1年目にして自然にできているのは、大学での学びや豊かな経験があったからでしょう。特別支援学級教諭の免許も取得しました。そんな内村先生に子どもたちはすっかり心を奪われており、授業中は先生のお話や指示を集中して聞いて一生懸命勉強していました。休み時間は内村先生の奪い合いになるほど、みんな内村先生が大好きな様子。今後教員としての成長を楽しみにしています。



コロナ禍での、
教育学部の授業形態は
「オンライン」「対面」「ハイブリッド」の
3種類があります！
「ハイブリッド」とは、教室で
授業を受ける学生と、オンラインで授業を受ける
学生が混在している授業形態のことです。
どの形態も、先生方が工夫して下さっていて、
多くの学びがありますよ！

特別支援教育コース3年
桑原恵海さん



Activity

コロナ禍でも工夫して 課外活動を行いました！

ま ずは「アートパーク13～カラフルミュージアム～」。毎年絵具遊びなどのワークショップを楽しむ内容でしたが、今回は見て楽しむ内容に変更しました。会議はオンラインで、制作準備は1週間前にギリギリ対面で行いました。たくさんのビニールのカーテンやかざぐるまの花畠など、いつもと違った公園を参加者と楽しみました。

次に3月に松戸市立稔台小学校で行った「黒板ジャック」。児童文化コースの学生が日曜日に1日かけて黒板アートを描きました。何も知らずに登校した子どもたちは大喜び。「卒業」をテーマに6年生の3教室、他に特別支援学級など11の黒板をジャックさせていただきました。

また、松戸の魅力を紹介するフリーペーパー「まるま」は第3号が完成しました。今回はコロナ禍で思うように取材ができず苦労しましたが、改めて人と人が触れ合うとの大切さを実感することになりました。学びのフィールドは地域にも広がっています。次の報告をお楽しみに！

自分のやりたいことを
実現できるので
毎日が充実しています。



児童文化コース4年
岩間結香さん

Interview

深津 さよこ先生

東京都の区立保育園勤務を経て、本学に着任した先生です。
乳児保育、乳幼児の情動発達、保育実習指導がご専門です。



2歳対象のツリー・ボーリング



1歳対象の折り紙を使用したツリー作り

乳児期は、人間の人生において一番最初の大切な時期。
この時期にどのような環境で過ごすかが、
その後の人生を決めると言っても過言ではない。
小さな子どもたちの生活に寄り添い、良い環境を作り出してほしい。

Q. なぜ、保育士になったのですか？

A. 小さい頃から抱いていた「保育園の先生になる夢」を叶えたかったからです。実際に保育士になると、毎日がとても楽しく、子どもを好きな気持ちがさらに膨らみました。その中で、「赤ちゃん」についてもっと勉強したいという思いが高まり、大学院へ進み、大学教員になりました。

Q. 乳児保育を学ぶことは、どのような意味がありますか？

A. 赤ちゃん(乳児)が育つ環境はとても大切です。その環境によって、将来が左右されることもあります。人生のスタート地点である赤ちゃん時代の発達や保育を学び、適した環境を整えてあげられるような保育者になってほしいと思っています。

Q. 高校生へのメッセージをお願いします！

A. 保育は知識も必要ですが、実践力をつけることも大切です。折り紙やピアノ、人形劇など、多様な実践力をつけられる大学を選んでほしいです。その実践力が、将来の保育に役立ちますよ。

Psychology

児童心理コース在学生に聞く！ 心理学を学ぶ魅力って？

免許・資格の学びと心理学を4年間両立できる
児童心理コース。今回は在学生に調査をしました。



心理学の授業を通してPC操作にも随分慣れました！



私たちは「心」で世界を見ている！
「大きさの恒常性」の実験風景より

児童心理コースに入って良かったことは？



※児童心理コース3・4年の26名
から得られた解答をもとに作成

注 目するのは心理学の学びについて。「『なるほど』と思えるような、説得力のある人の心についての学習ができる、面白いと思ったり、活かしたいと思った」「自分と向き合うことができるようになったし、相手と向き合いたいという気持ちが強くなった」などの魅力が挙げられました。「印象に残っている授業」を尋ねると、「乳幼児心理学」や「カウンセリング心理学」をおさえて「心理学基礎実験」が第1位！感染症対策しながら現在も対面で行っている実験の授業では、「Excelの使い方や統計処理の仕方など、最初は難しく感じたが、回数を重ねると分かるようになった」「レポートは大変だったが明らかに文章力や読解力が身についた」など成長を実感できる授業であることが理由でした。免許・資格の取得だけでなく、心理学もしっかり。楽ではないけれど、学びを楽しんでいる、児童心理コースの学生の姿が見えました。

Science

コロナ禍でも
理科の基本は「実験」です。

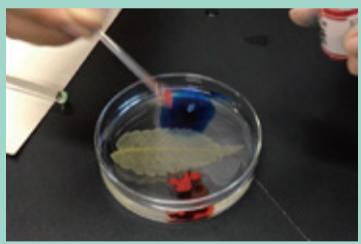


素材選びも理科のうち。



ソ 一チャルディスタンスを保ちながら、実際に行なうことを大切にして授業が進められています。3年生の授業では、学内の樹木から葉(しおり)を作りました。まず、適した葉を探しますが、これが一苦労です。様々な種類の葉を試行錯誤して、一番適した葉を選びます。次に、選んだ葉をアルカリで煮て、葉脈だけを残す作業になります。この作業は、根気よく行ないました。最後に、それぞれが思い思いの色に染め上げ、「葉」の完成です。

「なぜこうなるの?」という疑問を大切に、実験を通して理解していきます。そして、指導者の立場として、「どう教えたら子どもたちがワクワクするのか」「児童の多様な考えを引き出すにはどうしたらよいか」など、さらなる疑問や課題をもって、考えを整理していきます。これからも、実際に行なうことを大切に取り組んでいきます。



COURSE 教育学部 未来をつくる人を育てる。

教育学部 児童学科

子どもを輝かせる人へ



幼稚園教員養成コース (昼間主・夜間主)



一人ひとりの子どもの個性を伸ばし、
未来を創る幼児教育のプロフェッショナルに

幼稚園教育は学校教育の始まりです。子どもたちの豊かさを育むため「豊かな人間性」「幼児を理解する力」「指導を工夫する力」「保護者や小学校と連携する力」等を身につけ、子どもの心に寄り添える現場対応力を磨きます。



児童心理コース (昼間主・夜間主)



保育・教育現場や社会、そして子どもを支える
専門的な心理学を

子どもの発達を支えるうえで、心理学的知識を持つことが重要な時代になりました。4年間で専門的に学び、自信をもって子どもや保護者を支援できる力を身につけています。



保育士養成コース (昼間主・夜間主)



多様化する保育現場のニーズと課題に
応えられる質の高い保育士に

子ども一人ひとりの良さを伸ばし、子育てに悩む家族を支える専門力を身につけます。病気の子どもとその家族を支える幅広い対応力を養います。



児童文化コース (昼間主)



子どもの文化や遊びを探求し、表現力や
創造性を育てます

子どもの文化と遊び(造形、音楽、身体表現、絵本、児童文学、伝承遊び、野外活動など)を学び、子どもや地域のためにより良い文化、環境を創造できる先生・指導者を目指します。



Challenge Day

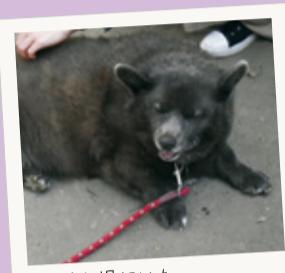
クラスメイトとわいわい、
地域の自然や文化に触れて
リフレッシュ!



小舟で移動。
思ったより水面が近く!



秋 晴れのとある1日。コロナ禍の1年生向け特別プログラムとして、「チャレンジDAY」が実施されました!課題解決力、チームワークなどを養う学外研修の一つです。グループごとに聖徳大学から柴又帝釈天までのルートを、チャレンジ課題と共に事前に計画し、辿りました。あるグループは、江戸川土手を歩いて、矢切の渡しという渡船に乗るルートを選択。松戸名物「矢切ねぎ」の畑を見たり、船を待っている間に焼き芋を食べたり。仲間とたくさんおしゃべりをして、課題を達成し、すっかり打ち解けました。オンライン生活から離れてリフレッシュでき、「明日からまた勉強頑張ろう」とモチベーションも高まったようでした。



船着き場にいた
小熊のような犬「くまちゃん」



入学して半年、やっと友だちに会えました。

